

テクニカルデータシート

シーカ® クリーナー 110

(旧製品名: マスターセット 110CLN)

付着モルタル及びスラッジ水に用いる安定剤

概要

シーカ® クリーナー 110 [Sika® Cleaner-110]は、JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」附属書D「付着モルタル及びスラッジ水に用いる安定剤」の規定に適合する薬剤です。

安定剤はトラックアジテータのドラムの内壁、羽根などに付着したフレッシュモルタル、並びにトラックアジテータ、プラントミキサ、ホッパ、戻りコンクリートなどの洗浄から発生するスラッジ水に含まれるセメントの活性状態を維持し、それぞれ再利用するために用いる薬剤で、その使用方法是附属書F「トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用法」、附属書G「安定化スラッジ水の使用法」にそれぞれ規定されています。

特長

1. フレッシュモルタル、並びにスラッジ水の有効利用により、産業廃棄物の減量化が図れます。
2. 資源の有効利用により、省エネルギーに繋がります。
3. スランプロスの少ないコンクリートを製造できます。
4. 夏期に見られる強度低下リスクを低減できます。
5. スラッジ水貯留槽・配管等設備への堆積物や付着物が減少し、管理費が低減できます。
6. トラックアジテータのドラム内のはつり作業が軽減できます。

主成分および物性

主成分	外 観	密 度 (g/cm ³ 、20°C)	全アルカリ量* (%)	塩化物イオン量* (%)
オキシカルボン酸系化合物	淡青色液体	1.10 ~ 1.14	3.5	0.05

*全アルカリ量、塩化物イオン量は分析値例です。

添加量と使用条件

附属書F「トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用法」における添加量

予想日平均気温	冬 期 (15°C未満)	標準期 (15 ~ 25°C)	夏 期 (25°Cを超える)
希釈溶液50L当たりの安定剤の添加量 (ℓ)	(0.5 ~ 1.0) × S	S	(1.0 ~ 1.5) × S

安定剤の添加量Sは1.0を標準として、予めコンクリート試験等によってご確認ください。

附属書G「安定化スラッジ水の使用法」における添加量

安定化スラッジ水の温度	冬 期 (15°C未満)	標準期 (15 ~ 25°C)	夏 期 (25°Cを超える)
スラッジ固形分の量100kg当たりの安定剤の添加量 (ℓ)	(0.3 ~ 1.0) × S	S	(1.0 ~ 1.8) × S

安定剤の添加量Sは1.0を標準として、予めコンクリート試験等によってご確認ください。

使用方法

附属書F「トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用方法」

シーカ クリーナー 110を含む50ℓ希釈溶液にてトラックアジテータ内を洗浄し、スラリー状モルタルとしてそのまま保存（スラリー状モルタルをドラムから取り出して専用の容器で保存しても良い）

翌日

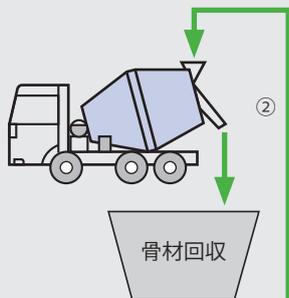
トラックアジテータのドラム内に保存する場合

新たに積み込むコンクリートは、希釈溶液を差し引いた水量で練り混ぜ、トラックアジテータで均一になるよう攪拌する

専用の容器に保存する場合

保存したスラリー状モルタルを、これが排出されたアジテータ1台分と同量又はこれを超えない量を計量して、新たに積み込むコンクリートの練混ぜ水の一部として練り混ぜる（希釈溶液分を単位水量から差し引く）

附属書G「安定化スラッジ水の使用方法」



- ① 予めトラックアジテータの洗浄回数に応じたシーカ クリーナー 110を洗浄水槽に添加する
- ② 洗浄水槽の水にてトラックアジテータを繰り返し洗浄する
- ③ 洗浄作業終了後、洗浄水槽の水をスラッジ水濃度調整槽に移送する
- ④ スラッジ固形分量およびスラッジ保存期間に応じたシーカ クリーナー 110を、スラッジ水濃度調整槽へ添加する
- ⑤ スラッジ固形分率を管理して、安定化スラッジ水を練混ぜ水として使用する

全ての工程において、シーカ クリーナー 110の添加量を記録する（最大使用量：1日当たりの標準使用量の4日分）



使用及び取り扱い上の注意

1. 本製品を希釈して使用する場合、予想日平均気温が25℃以下のときは7日、25℃を超えるときは5日以内にご使用ください。
2. 取り扱いに当たっては、保護マスク、保護メガネ、保護手袋等の保護具を着用してください。
3. 飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、専門医の診察を受けてください。
4. 皮膚に付着した場合は、速やかに水と石鹸で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
5. 眼に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた廃棄業者に処理を委託してください。
7. 本製品は他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように保管してください。
8. 凍結した場合は、温めながら静かに攪拌し、融解させてからご使用ください。
9. 使用及び取り扱いの前に、弊社の安全データシート（SDS）をお読みください。

荷姿

20ℓポリ内装箱／200ℓドラム缶／1000ℓIBCコンテナ

規制

各地域固有の規制の結果、製品のパフォーマンスが国により異なる可能性があることにご留意ください。実際の施工現場に関する情報は、その地域のプロダクトデータシートをご確認ください。

免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のテクニカルデータシートの最新版をご参照ください。テクニカルデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。各地域固有の法令及び規制に対しても、上記免責事項が適用されることがあります。上記免責事項を変更するには、いかなる場合でも、スイス・バールにあるシーカ本社法務部による許可が必要となります。

シーカ・ジャパン株式会社

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

Phone: 03-6434-7291

Jpn.sika.com

2024.10, ver.1

BUILDING TRUST

